

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実習	科目名	施設実習		
必修選択	選択	(学則表記)	施設実習		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	80
使用教材			出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	美容業界の現場で求められる資質や運営方法を具体的に理解する。				
到達目標	社会人としてマナーや敬語を使用することができる。 スタッフ間のスムーズな報告連絡相談を行うことができる。				
評価基準	企業側評価60% 学校側評価40% (ビジネスマナー20%・各コース該当項目20%)				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の50時間以上の者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格					
関連科目	就職対策Ⅰ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高島幸乃 (他1名)	実務経験		○	
実務内容	美容部員として4年勤務				

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	就職対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	就職対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	全学科	2	30
使用教材	美容学生のための就活教科書		出版社	株式会社ADE CREATES	

科目の基礎情報②

授業のねらい	卒業時にはすべての人に感謝の気持ちを持ち愛される存在になっている。また、人間力が構築されて、社会人として自信をもって送り出せる人材。				
到達目標	希望の就職先に内定				
評価基準	テスト：10% 提出物・課題：50% 授業態度：40%				
認定条件	出席が総時間数3分の2以上ある者 成績評価が2以上のもの				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	下町さおり・高島幸乃	実務経験	○		
実務内容	化粧品会社・エステサロン等勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	夢	2年生になって、ここからの目標・学校生活、就職について
2	人間力	人間関係の構築・就職活動（GWの課題）
3	人間力	集団行動の大切さ・就職活動の課題
4	夢	企業研究
5	人間力	プレゼンテーション・グループディスカッション

6	人間力	チームワーク（熱い動画）
7	夢	美容業界リサーチ
8	人間力・夢	就職先リサーチ・ディスカッション
9	人間力	チームワークとやりきる力
10	人間力	行事を通してのクラス、学年の団結の振り返りとこの先へ向けて
11	夢	美容業界の知識を深める
12	夢	若手実業家（動画）
13	夢	企業研究・話す力・聴く力、夏休みの課題について
14	夢	課題のプレゼンテーション
15	人間力	前期の振り返り（目標達成度の確認）
16	人間力	オリエンテーション（なりたい自分に向けて） レクレーション
17	人間力	担任の想い
18	夢	一般常識
19	夢	社会人として求められているもの
20	人間力	愛される人材とは
21	人間力	メンタルトレーニング①
22	人間力	メンタルトレーニング②
23	夢	企業研究
24	人間力	感謝の気持ち
25	夢	企業研究
26	夢	CASEスタディ①
27	夢	CASEスタディ②
28	人間力	卒業してからの自分を想像する
29	夢	企業研究の総まとめ
30	夢	2年間の振り返り

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	着付けⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	着付けⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	60
使用教材	教本・ゆかた本・お太鼓枕・帯板・伊達締め・新伊達締め・腰ベルト・腰ひも(モスリン(4点))長襦袢(半えり付)・和装スリッパ(下着)・クリップ(2本セット)足袋		出版社	桜花出版 KW	

科目の基礎情報②

授業のねらい	着付に関する知識・技術を身につける。				
到達目標	着付に関する技術の習得や付随する知識を蓄えることにより、今後の接客へ役立てることが出来る。 技術の習得目安として、 ・着付け3級(6月強制受験 免許強制) ・着付け2級(12月強制受験 免許任意) を取得することが出来る。				
評価基準	検定試験：40% テスト：30% 授業態度：30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	一般財団法人京都きもの伝承文化協会 きもの着付け資格				
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里 千枝子他	実務経験		○	
実務内容	きものコンサルタント40年 専門学校非常勤講師10年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション	授業の流れ、授業ルールについて、到達目標について、教材小物の説明・記名、考查票の記入、足袋サイズの確認
2	小紋の着せ方1	補整、長襦袢の着せ方、たたみ方を学び実践する
3	小紋の着せ方2	小紋の着付(裾線、衿合せ)、たたみ方を学び実践する
4	小紋の着せ方3	小紋の着付(お端折の作り方)を学び実践する
5	小紋の着せ方4	半幅帯(蝶結び)の結び方を学び実践する 小テスト(着物の名称)を実施する
6	小紋の着せ方5	小紋の着付を仕上げる(検定対策)
7	小紋の着せ方6	小紋の着付を仕上げる(検定対策)

8	小紋の着せ方 7	小紋の着付を仕上げる（検定対策）
9	検定向上会	総仕上げ、検定試験の流れについて
10	検定試験	きもの着付け 3 級検定（小紋の着付と蝶結び 20 分）を実施する たたみ方テストを実施する
11	座学 1	着物の名称と用語（プリント①②）について 試験結果を通知する
12	浴衣の着方・着せ方	浴衣の着方（自装）と着せ方、半幅帯バリエーションを学び実践する
13	小紋と名古屋帯 1	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
14	小紋と名古屋帯 2	お太鼓結びでの普段着（小紋）着付を学び実践する
15	総合学習	小紋の着付（仕上げ）と総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ヘアアレンジⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ヘアアレンジⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	ヘアアレンジ道具一式、ヘアアレンジテキスト		出版社	ユアサポート	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだ基礎技術を応用し和装から洋装までシーンに合わせたヘアアレンジ技術を現場を意識して実践できるようにする				
到達目標	様々なスタイル技術を習得する お客様のオーダー通りにヘアスタイルの展開図を理解する				
評価基準	テスト50%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅠ、ブライダルメイク、特殊メイク、アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	岡本梨花	実務経験	○		
実務内容	美容師国家資格取得後、ヘアメイクとして結婚式場に11年勤務。その後フリーランスへ転向				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 1年次復習	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 1年次復習(ピン・ホットカーラーなど)/振り返り
2	土台の作り方 逆毛の立て方・すき毛の使用	土台(導入・練習) 逆毛・すき毛(導入・練習)
3	夜会巻①	夜会巻(導入・練習)
4	夜会巻②	夜会巻(練習)
5	夜会巻③	本夜会(導入・練習)
6	夜会巻④	本夜会(導入・練習)
7	夜会巻⑤	重ね夜会・本夜会(テスト・振り返り)

8	テーマに合わせたスタイル①	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(導入・練習)
9	テーマに合わせたスタイル②	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(練習)
10	テーマに合わせたスタイル③	テーマに合わせて展開図を作りスタイルを考える(テスト・振り返り)
11	洋装スタイル①	トレンドから取り入れたスタイル作り(導入・練習) 展開図作成
12	洋装スタイル②	トレンドから取り入れたスタイル作り(練習) 展開図作成
13	洋装スタイル③	カールアップスタイル作り(導入・練習)
14	洋装スタイル④	カールアップスタイル作り(練習)
15	総合授業	まとめを行う
16	新日本髪①	授業の目的目標、評価基準、授業ルールの再確認 新日本髪(導入・練習)
17	新日本髪②	新日本髪(練習)
18	新日本髪③	新日本髪(練習)
19	新日本髪④	新日本髪(テスト・振り返り)
20	和装スタイル①	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
21	和装スタイル②	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
22	和装スタイル③	和装シーン、テーマに合わせて和装スタイル作成(展開図含む)
23	パーティースタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
24	パーティースタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
25	アレンジスタイル①	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
26	アレンジスタイル②	イメージ、シーン、テーマに合わせてスタイル作成(展開図含む)
27	卒業制作①	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
28	卒業制作②	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
29	卒業制作③	テーマに合わせて行う、若しくは他のメイク授業内で行う卒業制作に伴うヘアアレンジデザイン(展開図作成・練習)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス、問題集 化粧品検定協会テキスト・問題集		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス、日本化粧品検定3級・2級				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鮫島唯（他1名）	実務経験	○		
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	試験当日のシミュレーション(小項目)
7	化粧品検定級対策① 間違いな美容知識をチェック	1年次復習

8	化粧品検定級対策② 皮膚・肌について知ろう	皮膚の構造～皮膚の機能(大項目)
9	化粧品検定級対策③ 肌の手入れと正しい知識	メイクアップの基本テクニック～肌悩みに応じた化粧品の使い方(大項目)
10	化粧品検定級対策④ 肌の手入れと正しい知識	肌タイプと見分け方～肌悩みに原因とお手入れ(大項目)
11	化粧品検定級対策⑤ 美肌・美ボディ生活を送るには	肌を劣化させるさまざまな要因～美しい肌を作る生活習慣(大項目)
12	化粧品検定級対策⑥ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
13	化粧品検定級対策⑦ 復習	化粧品検定2級受験に向けての復習
14	化粧品検定級対策⑧ 2級検定受験	化粧品検定2級受験
15	総合授業	まとめを行う
16	・化粧品と法律(医薬部外品等) ・化粧品の定義 ・成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
17	製品特徴・アプローチ法(クレンジング、洗顔、化粧水、美容液、乳液・クリーム)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
18	製品特徴・アプローチ法(スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
19	製品特徴・アプローチ法(スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア)	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
20	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認(聴くテクニック)
21	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認(聴くテクニック)
22	接客について、おもてなしの心、クレーム スキンケア	接客する際の注意点、おもてなしとは、クレームの事例対処 肌の仕組みを学ぶ、季節ごとの肌変化
23	肌の仕組みテスト/スキンケア(乾燥) ・乾燥の原因 ・スキンケアによる対処法	・肌の仕組み復習 ・乾燥の原因と乾燥が及ぼすトラブル・乾燥に効果的なスキンケアアレクチャー ・改善に効果的な食べ物や生活習慣アドバイス
24	スキンケア(シミ) ・紫外線について ・スクラブ・日焼け止め研究・美白について	・紫外線が及ぼす肌トラブル ・各ブランドから出ているスクラブ、日焼け止めの研究
25	スキンケア(ニキビ) ・ニキビができる原因 ・スキンケアによる対処法	・ニキビができる原因追求 ・スキンケアによる対処法をレクチャー ・改善に効果的な食べ物や生活習慣アドバイス
26	スキンケア(クマ・くすみ) ・クマができる原因 ・スキンケアによる対処法(アイクリーム)	・クマができる原因追求 ・スキンケア法による対処法をレクチャー ・生活習慣アドバイス・接客用語を使用しロープレ
27	スキンケア(シワ・たるみ) ・老化について ・アンチエイジング化粧品の研究	・シワ、たるみの原因追求 ・スキンケアによる対処法をレクチャー
28	総復習	学生の学びが弱い内容を強化する
29	テスト	テスト、振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ビューティーカウンセラーメイクⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	メイク道具一式、ブランドコスメ メイクアップテキストアドヴァンス、問題集 化粧品検定協会テキスト・問題集		出版社	ユアサポート 主婦の友社	

科目の基礎情報②

授業のねらい	イメージに合わせたポイントメイク技術を学び、イメージを意識したメイク技術を実践する スキンケア・スキンケア対処方接客についてを習得する				
到達目標	各テーマのメイクテクニックの理解を通じて、人物に合うメイクを施すことができる スキンケアの基礎知識を深めお客様の悩みお解消できるよになる				
評価基準	テスト30%、検定取得20%、提出物30% 授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格	メイク検定アドヴァンス				
関連科目	ビューティーカウンセラーメイクⅠ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	鮫島唯（他1名）	実務経験	○		
実務内容	美容部員として5年勤務。コスメコンシェルジュインストラクター取得。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション アドヴァンス検定詳細説明/練習①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの詳細説明/練習
2	アドヴァンス検定対策②	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
3	アドヴァンス検定対策③	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
4	アドヴァンス検定対策④	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
5	アドヴァンス検定対策⑤	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
6	アドヴァンス検定対策⑥	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
7	アドヴァンス検定対策⑦	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの 中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策

8	アドヴァンス検定対策⑧	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
9	アドヴァンス検定対策⑨	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
10	アドヴァンス検定対策⑩	検定テーマに合わせて、メイクアップ・デッサン・プレゼンテーションの中から習熟状況によって判断し練習を行う/筆記対策
11	BCの仕事、百貨店とは・化粧品メーカーの組織・身だしなみについて	意識付け/ハンドデモを入れた一連の接客デモンストレーション ※各校判断で企業とタイアップ
12	製品特徴・アプローチ法（クレンジング、洗顔、化粧水、美容液、乳液・クリーム）	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
13	製品特徴・アプローチ法（スクラブ、パック、オイル、マッサージ、ボディケア）	各カテゴリーごとの製品の役割、種類、特徴、メリットデメリット、選ぶ基準等
14	テスト	テスト、振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	・化粧品と法律（医薬部外品等） ・化粧品の定義 ・成分表示	ナチュラルコスメとオーガニックコスメの違いなども含め興味を持たせる
17	カウンセリングの流れ・ロープレ	カウンセリングの流れを確認
18	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代別の肌悩みを知る メイクアップのアドバイスの仕方を学ぶ
19	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
20	世代に合わせたカウンセリング メイクテクニック	世代に合わせたメイクアップの提案
21	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて①	オンラインで行う際のお客様へ商品のご提案
22	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて②	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)
23	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて③	商品をPRする方法(写真映え、加工、キャッチコピー)、SNS投稿検証
24	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて④	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングの方法
25	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑤	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 カウンセリングシートの使用
26	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑥	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 オンラインツールを使用したカウンセリング実践
27	メイクアップ動画作成、動画SNS作成 オンラインによるカウンセリングについて⑦	オンラインでカウンセリングを行う時に対応方法 オンラインツールを使用したカウンセリング実践
28	総復習①	学生の学びが弱い内容を強化する
29	総復習Ⅱ	テスト、振り返り
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ブライダルメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	ブライダルメイク		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	メイク道具一式、ヘアアレンジ道具一式、ブライダル雑誌		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ブライダルのシーンに合ったメイク技術を学ぶ。 現場を意識した技術を出来るようになる				
到達目標	ブライダルメイクの基礎を理解し実践でできるようになる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	田場尊子（他1名）	実務経験	○		
実務内容	美容師国家資格取得後、美容師として10年勤務。その後、婚礼ヘアメイクと一般美容室で勤務				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 基本知識	授業の目的目標、評価基準、授業ルール ブライダルプランニング、ヘアメイクの仕事、衣装の種類
2	ブライダル概論・基礎知識・カラー ージュ作成	挙式の種類・挙式と披露宴会場とスタイル・ブライダル用語
3	洋装①	ブライダルメイクの基本(ベースメイク)
4	洋装②	ブライダルメイクの基本(ポイントメイク)
5	洋装③	ブライダルメイクの基本(ドレス別)
6	洋装④	お色直しの方法、ヘア概論
7	洋装⑤	テスト、振り返り

8	ゲストメイク①	ドレス別ヘアメイク
9	ゲストメイク②	お母様 黒留袖メイク
10	和装①	基礎知識(歴史、かつら、専門用語)
11	和装②	白無垢化粧の練習を入れる
12	和装③	色打掛・引き振袖(黒)
13	和装④	白無垢化粧
14	和装⑤	白無垢化粧
15	総合授業	まとめを行う
16	白ドレス～色ドレス～までの流れ	*ドレス補正ポイントメイキング&インナーについて(導入、実践)
17	お色直しの基本知識	和装 → 洋装 → 一連の流れの実習 (導入、実践)
18	ゲストヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク (導入、実践)
19	着物ヘアメイク①	着物スタイル
20	着物ヘアメイク②	理論・着物別・年齢別のメイク
21	成人式ヘアメイク①	理論・着物別・年齢別のメイク 基本知識とテクニック
22	七五三ヘアメイク	七五三の歴史・由来・小物・着物
23	パーティーヘアメイク	シーンに応じたヘアメイク
24	テスト	テスト、振り返り
25	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
26	卒業制作②	卒業制作(実践)
27	卒業制作③	卒業制作(実践)
28	卒業制作④	卒業制作
29	卒業制作⑤	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	特殊メイク		
必修選択	選択	(学則表記)	特殊メイク		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	メイク道具一式・エアブラシ道具・ボディージュエリー道具、その他特殊用品等		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディアート、傷メイクなど特化したシーンで活用できる特殊メイク技術を学び実践できるようにする				
到達目標	特殊メイクを通じて、メイクの知識を深める メイクの応用力を身に付け技術の幅を広げる				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、サロンワーク（メイク）				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	若林知美	実務経験	○		
実務内容	美容師免許取得後、美容室勤務を得てフリーランスヘアメイクとして活動				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 老人メイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法) 老人メイク導入
2	老人メイク②	老婆のメイクを実践する
3	老人メイク③	老父のメイクを実践する
4	舞台メイク①	舞台メイク導入
5	舞台メイク②	舞台の女役メイクを実践する
6	舞台メイク③	舞台の男役メイクを実践する
7	舞台メイク④	テスト

8	ボディアート	ボディアート等の実践
9	キャラクターメイク①	テーマに合わせたメイクを実践する
10	キャラクターメイク②	テーマに合わせたメイクを実践する
11	キャラクターメイク③	テーマに合わせたメイクを実践する
12	キャラクターメイク④	テーマに合わせたメイクを実践するテスト、振り返り
13	傷メイク①	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの導入
14	傷メイク②	様々な傷(あざ・火傷含む)のメイクの実践
15	総合授業	まとめを行う
16	アニマルメイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
17	アニマルメイク②	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
18	アニマルメイク③	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
19	アニマルメイク④	デッサンシートの基づいたメイク(テスト、振り返り)
20	日本の伝統メイク①	テーマに基づいたメイクの導入・実践
21	日本の伝統メイク②	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
22	日本の伝統メイク③	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
23	日本の伝統メイク④	デッサンシートの作成デッサンシートの基づいたメイクの実践
24	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
25	卒業制作②	卒業制作(実践)
26	卒業制作③	卒業制作(実践)
27	卒業制作④	卒業制作(実践)
28	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
29	卒業制作⑥	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	アーティストメイク		
必修選択	選択	(学則表記)	アーティストメイク		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	メイク道具一式 スマホアプリ(VOGUE/UNWAY等)、雑誌(VOGUE/MODE ET MODE等)		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	ショーや撮影などで施すメイク技術を身につけ、現場において実践できるようにする				
到達目標	トレンド・年代別・ショーメイク・スチール撮影(フォトコンテスト)に必要なメイク技術と知識を身に付ける 様々なメイクアップが出来る様に、発想力・表現力を身に付ける				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジII、サロンワーク(メイク)、フォト&ファッション				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	福澤千津子(他1名)	実務経験	○		
実務内容	美容部員として5年勤務後、フリーランスでブライダルヘアメイクアップアーティストとして活動中				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーションベースメイク①	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認ベースメイク導入、実践
2	ベースメイク② ポイントメイク	ベースメイク復習 ポイントメイク実践
3	ショーメイク①	立体感や骨格をとらえたメイク(導入、実践)
4	ショーメイク②	Wラインの使ったメイク(導入、実践)
5	ショーメイク③	グリッター・メイク用品のデコレーション素材の使い方(導入、実践)
6	ショーメイク④	色の発色、グラデーションの見せ方(導入、実践)
7	ショーメイク⑤	テーマに沿った、フルメイク(テスト、振り返り)

8	スチールメイク①	フォトコンで行うメイク制作(導入、実践)テーマに合わせて行う
9	スチールメイク②	フォトコンで行うメイク制作(実践)テーマに合わせて行う
10	スチールメイク③	フォトコンで行うメイク制作(テスト)テーマに合わせて行う
11	スチールメイク④	テーマに合わせた作品制作作品の振り返り
12	トレンドメイク①	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(導入、実践)テーマに合わせて行う
13	トレンドメイク②	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
14	トレンドメイク③	トレンド、コレクション等のメイクアップを学ぶ(実践)テーマに合わせて行う
15	総合授業	まとめを行う
16	メイクの歴史	古代～中世～近代のメイクについて (時代背景や特徴について)
17	年代別のメイク①	年代別 20、30、40
18	年代別のメイク②	年代別 50
19	年代別のメイク③	年代別 60
20	年代別のメイク④	年代別 70、80
21	年代別のメイク⑤	年代別 90、2000
22	年代別のメイク⑥	年代別の技術まとめフルメイクテスト、振り返り
23	卒業制作①	卒業制作(導入、実践)
24	卒業制作②	卒業制作(実践)
25	卒業制作③	卒業制作(実践)
26	卒業制作④	卒業制作(実践)
27	卒業制作⑤	卒業制作(実践)
28	卒業制作⑥	卒業制作(実践)
29	卒業制作⑦	卒業制作(実践、振り返り)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	フォト&ファッション		
必修選択	選択	(学則表記)	フォト&ファッション		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	30
使用教材	【フォト】カメラ機材(※各校にて可能な範囲) 【ファッション】スマホアプリ(VOGUERUNWAY等)、雑誌 (VOGUE/MODE ET MODE 等)		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	【フォト】写真のレイアウトやモデルのポージング・撮影場所よっての注意点等を理解し、実践力を身につける				
到達目標	【フォト】色・光・影の出方によるメイク映えを知る/撮影中の注意事項を理解する 【ファッション】トレンドやファッションの知識を深める/ファッションとメイクアップの関連性を知る				
評価基準	テスト50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	平良 尚子	実務経験	○		
実務内容	フォトグラファーとしてウェディング業界に3年勤務 Photoshopクリエイター能力認定試験 スタンダード取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	オリエンテーション 光と影について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール 教材確認(名称、使い方、管理(セッティング)方法)
2	写真のバランス・レイアウト	レイアウトやモデルのポージングについて
3	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 カメラの構え方やレンズの使い方を知る
4	撮影光と影の使い方	オート(プログラムオート)で自由に撮影 露出補正を使いながら意図する明るさで撮る
5	カメラの使い方	撮影のフィードバックとレンズワークによる遠近感の変化 絞りやレンズワークによる背景のボケ方の説明
6	レフの使い方	室内でレフを使った撮影練習
7	作品作り①	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り

8	作品作り②	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
9	スチール①	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
10	スチール②	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
11	スチール③	テーマに合わせた作品制作に向けてポージングやライティング等 準備・試し撮り
12	テスト	作品作りに合わせてテスト、振り返り
13	作品作り③	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
14	作品作り④	テーマに合わせた作品制作 作品の振り返り
15	総合授業	まとめを行う
16	オリエンテーション メイクとの関連について	授業の目的目標、評価基準、授業ルール、教材確認 メイクとファッションの繋がり
17	服の歴史について①	服の成り立ち(古代～中世)
18	服の歴史について②	服の成り立ち(中世～近代)
19	コレクションについて①	コレクション開催4都市について コレクションの歴史
20	コレクションについて②	コレクションブランドについて (シーズンサイクルなど)
21	コレクションについて③	オートクチュール
22	コレクションについて④	プレタポルテ(レディース・メンズ)
23	コレクションについて⑤	コレクションの歴史と開催都市等のまとめテスト
24	トレンドについて①	雑誌、SNSの見方と情報収集
25	トレンドについて②	トレンド研究を行う
26	ファッションデザイナー①	雑誌・SNSを使いデザイナーのトレンドを調べる
27	テスト	テスト
28	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシート の作成)
29	コンセプトシート作成	発表されたコレクションを模写もしくはアレンジし、デザイン画 (コンセプトシート の作成)
30	総合授業	まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク(メイク)		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク(メイク)		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	必要に応じたヘアメイク道具一式、筆記用具類		出版社		

科目の基礎情報②

授業のねらい	マーケティング、サロンマネジメント、顧客管理について学びサロン運営を行う				
到達目標	現場実践を積み、接客力を身に付ける コミュニケーション力を身に付ける				
評価基準	レポート(テスト対応の場合有)50%、提出物30%、授業意欲20%				
認定条件	出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	ヘアアレンジⅡ、ビューティーカウンセラーメイクⅠⅡ、ブライダルメイク、特殊メイク、アーティストメイク				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	高島幸乃(他1名)	実務経験	○		
実務内容	美容部員として4年勤務。				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	様々なシチュエーションや施術内容を設定し、 サロンワークとしての技術・接客を行う
2	1年次復習	
3	サロンワーク技術練習	施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い・ イレギュラーな対応方法など様々な視点からチェックしていく
4	サロンワーク技術練習	
5	サロンワーク技術練習	基本的には外部の方法をお客様として招き、 サロンを運営することを目的する (授業の空き教員や姉妹校教員にもお客様としてモデルを お願いしたり相モデルを設定して工夫して授業を進める)
6	サロンワーク技術練習	
7	サロンワーク技術練習	

8	サロンワーク技術練習	<p>サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成など すべての運営を生徒たちに考えて学ばせる</p> <p>接客など生徒の理解を確認するために、テストも実施 Bショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける</p>	
9	サロンワーク技術練習		
10	サロンワーク技術練習		
11	サロンワーク技術練習		
12	サロンワーク技術練習・テスト		
13	サロンワーク技術練習		
14	振り返り		
15	総合授業		総まとめを行う
16	サロンワーク技術練習		<p>様々なシチュエーションや施術内容を設定し、 サロンワークとしての技術・接客を行う</p> <p>施術時間・道具の管理・接客対応・言葉遣い・ イレギュラーな対応方法など様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方法をお客様として招き、 サロンを運営することを目的する (授業の空き教員や姉妹校教員にもお客様としてモデルを お願いしたり相モデルを設定して工夫して授業を進める)</p> <p>サロンのメニューや集客方法、フライヤー作成など すべての運営を生徒たちに考えて学ばせる</p> <p>接客など生徒の理解を確認するために、テストも実施</p>
17	サロンワーク技術練習		
18	サロンワーク技術練習		
19	サロンワーク技術練習		
20	サロンワーク技術練習		
21	サロンワーク技術練習		
22	サロンワーク技術練習		
23	サロンワーク技術練習		
24	サロンワーク技術練習		
25	サロンワーク技術練習		
26	サロンワーク技術練習		
27	サロンワーク技術練習・テスト		
28	サロンワーク技術練習		
29	振り返り		
30	総合授業	総まとめを行う	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク (エステ)		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク (エステ)		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 理論編III AEAテキスト (サロンマネジメント) タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	① マーケティング・サロンマネジメント・顧客管理について学び、サロン運営方法を習得する ② 「美」を通して人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①現場実践を積み、接客力を身に付けるとともに症例数をこなすことでコンサルテーション力を身に付ける ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる。				
評価基準	①実技試験60%/授業態度・提出物など20% ②レポート20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目					
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	下町さおり	その他2名	実務経験	○	
実務内容	サロン実務経験10年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	サロンワーク導入	サロンマネジメントについて サロンワークの目的・運営方法について
	美容総合授業	目標立て・ショーのテーマ決め・各セクション、モデル決定 スケジュール立て・デッサンシート作成
2	(例) サロン立ち上げ企画	接客マナーについて サロン作り・メニュー考案(ディスカッション等) 広報ツール作成
	美容総合授業	構成シート作成・ドレス決定・演出決め・BGMシート作成・デッサンシート完成
3	(例) サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習

4	(例) サロン立ち上げ企画	サロンオープン準備
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
5	サロン衛生管理	衛生学 消毒の実践
	美容総合授業	BGM・映像・ヘアメイク練習
6	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	モデルウォーキング・各セクション、動きの確認
7	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
8	技術練習	サロンオープン準備(フェイシャル)
	美容総合授業	ショー通しリハーサル
9	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
10	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
11	技術練習	サロンオープン準備(ボディ)
12	リハーサル	ボディ・フェイシャル
13	プレオープン	ボディ・フェイシャル ※プレオープンのため無料施術
14	振り返り	フィードバックからの学び
15	総合授業	総まとめを行う

16		
17		
18		
19		
20		
21		
22	サロンワーク	<p>サロン実習</p> <p>適宜振り返りのタイミングを設けながら接客力向上のための取り組みを実施する</p>
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティックカウンセリングⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	エステティックカウンセリングⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト (各項目)		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	顧客の悩みや状態について原因・要因を考え、的確に状態を見極め、カウンセリングシートを作成する。お手入れとアドバイスを専門的に行える知識を身につける				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準(前期) AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準(後期)				
評価基準	筆記試験40%・コンサルテーション40%・授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロボディⅡ・トリートメント・サロンワーク・エステティック総論Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	下町さおり	実務経験		○	
実務内容	サロン実務経験10年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年振り返り	1年生振り返り
2	コンサルテーションシートの記入について(フェイシャル+ボディ)	記入方法について
3	ホームケアアドバイスフェイシャル	運動学・栄養学・食事指導
4	ホームケアアドバイスボディ	運動学・栄養学・食事指導
5	ストレスが体に及ぼす影響	ストレスとは 脳の関係・内分泌系の関わり ストレスと免疫系・病気の関わり 現代病について ストレスとの付き合い方

6	心と肥満の関係	肥満の心理側面・現代社会における肥満について 肥満の心理状態
7	体のバランス機構	環境適応のメカニズム 自律神経による体内調節の・仕組み 成績評価①
8	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
9	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
10	AEA上級認定試験対策	コンサルテーションシート記入(ボディ・フェイシャル)・口頭試問
11	コンサルテーションシートの フェイシャル記入について	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる
12	口頭試問対策	肌トラブル別の理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価②
13	コンサルテーションシートの ボディ記入について	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる
14	口頭試問対策	運動生理について理論的解説・コンサルシートを仕上げる 成績評価③
15	総合授業	総まとめを行う
16	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	Ajeathe上級試験筆記範囲 コンサルテーション 口頭試問 成績評価④
17	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
18	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
19	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
20	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
21	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
22	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
23	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
24	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
25	Ajeathe上級実技口頭試問対策 筆記試験範囲	
26	筆記試験	成績評価⑤ 筆記試験模試
27	Ajeathe上級実技口頭試問対策 実技試験範囲	Ajeathe上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験範囲 補填
28		
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	サロントリートメント		
必修選択	選択	(学則表記)	サロントリートメント		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 新エステティック学選択科目編 AEAテキスト西洋・東洋のセラピー・クリエーヌ化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・ボディ化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	選択科目の知識、技術を学ぶ ・東洋医学・フットケア				
到達目標	エステティシャンとしての接客マナーを実践し、選択科目のさまざまな技術を安全に行うことができる				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格					
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上地葉子	その他2名	実務経験	○	
実務内容	サロン経営・実務経験30年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	トリートメント オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、年間の学習内容と履修目標と前期成績評価
2	ハイドロセラピー	理論 タラソセラピーとは歴史・効果 注意・禁忌事項・応用
3	タラソセラピー	タラソパック デモンストレーション ソルトピーリング/海泥パック/海藻パックなど
4	リンパドレナージュ	理論 リンパドレナージュとは(歴史・効果)/リンパ液・リンパ節について
5		理論 リンパドレナージュ/注意・禁忌事項など基本手技/下肢後面・腰背部
6	総合まとめ	成績評価① 筆記テスト(タラソセラピー、リンパドレナージュ)

7	AEA上級	
8	エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
9		
10	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
11	スエディッシュマッサージ練習	オリジナル・スエディッシュマッサージ導入
12		
13		成績評価②実技テスト（スウェディッシュマッサージ）
14	ペディキュア	ペディキュア デモストレーション 練習
15		ペディキュア 練習 予備日
16	ペデュキュア	ペディキュア 練習
17		
18	東洋医学カッピング リフレクソロジー	理論/東洋医学（西洋医学との違い）（経絡・経穴） 基本手技/カッピング
19	ポドロジー	理論/リフレクソロジー・ポドロジー 基本手技/東洋式・西洋式
20	ストーンセラピー	理論/ストーンセラピー
21		基本手技/ストーンセラピー
22		
23	代替療法	インド伝統医学の考え方と療法（理論）
24	アーユルヴェーダ	アーユルヴェーダマッサージ（実技） ※実技は国際専攻の内容を参考に行う
25	AJESTE認定上級 エステティシャン試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
26		
27		
28		
29	トリートメント総合	トリートメント総合 成績評価④筆記テスト（リフレクソロジー、ストーンセラピー、アーユルヴェーダ）
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロボディⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	プロボディⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	エステティック科 トータルビューティー科	4	120
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ボディテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器 ・ハンドテクニック・接客マナー				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/成績評価2回20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上地葉子 その他2名	実務経験	○		
実務内容	サロン経営・実務経験30年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	ボディテクニカル オリエンテーション	担当教員自己紹介・授業の方向付け、履修目標について解説 ボディ用化粧品ガイダンス・2年より導入の化粧品の導入（目的、効果、成分、使用法等） 1年次の復習（ボディチェック+マッサージ）
2	ボディ分析 コンサルテーションシートの記入	ボディチェック・運動生理学・姿勢・ポジショニング・採寸 AEAコンサルテーションシートの記入方法について

3		低周波
4	ボディ電気機器 交流電流	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
5		
6	ボディ電気機器	サクション
7	サクション	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
8	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価① 模擬試験
9	エステティシャン 試験対策	
10		
11	ボディ電気機器	G5
12	G5	口答試問対策・解説 禁忌事項・操作方法 ※連動教科：総論→電気学
13	ボディ機器総合	ボディ機器 総合復習
14		ボディ機器 総合復習 成績評価② 機器総合
15	総合授業	総まとめを行う
16	脱毛 Wax (Warm)	脱毛理論/体毛について毛髪学/成分/ワックス脱毛の目的と効果
17		脱毛理論/成分/注意事項・禁忌事項
18		ワックス実技 (腕・足) (デモスト・実技)
19		成績評価① 脱毛試験
20	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説

21	ボディテクニック総合 クライアント実習	カウンセリングシートの記入法・お通し カウンセリング・採寸・機器選択 ボディマッサージ アフターカウンセリング … 一連の流れで練習 wax脱毛 ※体質別のプランの立て方や、苦手分野を補って練習を行う。
22		
23		
24		
25	AJESTE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習 脱毛含む 成績評価② 模擬試験
26		
27		
28		
29	ボディテクニック総合	ボディテクニック総合 復習
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェイシャル（上級）Ⅱ		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェイシャル（上級）Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ理論編Ⅲ AEAテキスト10冊セット・クリエース化粧品セット タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイシャル化粧品		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得をする ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	徳浜より子 その他2名	実務経験	○		
実務内容	サロン経営・実務経験20年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	プロフェイシャルⅡ オリエンテーション	1コマ 担当教員自己紹介・後期授業の方向付け、履修目標について解説 前期の振り返り 接客の基礎実践 ディープクレンジング復習
2	フェイシャル化粧品ガイダンス マスク（肌別・形状別）	2年より導入のフェイシャル化粧品の導入 （目的、効果、成分、使用法等）
3	フェイシャル電気機器	イオンフォレーゼ・ディスプレイスステーション 実技理論・デモンストレーション含む
4	直流電流	※連動教科 （総論→電気学 ボディ→ガルバニック）

5	AEA上級	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
6	エステティシャン 試験対策	
7		
8	AEA模擬試験	成績評価①
9	フェイシャル電気機器	バター 実技理論・デモンストレーション含む ※連動教科 (総論→解剖生理学 ポディ→サクション)
10	サクション	
11	フェイシャル電気機器	高周波 (直接法・間接法・閃光法) 実技理論・デモンストレーション含む
12	高周波	
13	オリジナルマッサージ スエデッシュマッサージ練習	オリジナルマッサージ デモンストレーション・実践
14	フェイシャル総合授業	成績評価②
15	総合授業	総合授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	プロフェッショナル（上級）Ⅲ		
必修選択	選択	（学則表記）	プロフェッショナル（上級）Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	新エステティック学 技術編Ⅰ/Ⅱ 理論編Ⅲ・AEAテキスト10冊 セット クリエース化粧品セット・タオル類・消耗品類・筆記用具・フェイ		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	フェイシャルテクニック総合（資格試験対応）クライアントに対応した知識、技術の習得 ・コンサルテーション・エステティック機器				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン合格基準 AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準				
評価基準	実技試60%/小テスト20%/授業態度・提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	エステティックカウンセリングⅡ・エステティック総論				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	徳浜より子 その他2名	実務経験	○		
実務内容	サロン経営・実務経験20年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	肌別・トラブル別の選択	【3コマ】カウンセリングシート作成・選択理由・目的・効果 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
2	皮膚生理学・化粧品学・機器	【3コマ】口答試問対策・解説・禁忌事項・操作方法 【3コマ】メイク・ネイルいずれかを実施
3	アフターカウンセリング	カウンセリングシートに基づくアドバイス 理論的解説・小テスト
4	オリジナルマッサージ	オリジナルマッサージ
5	スエデッシュマッサージ練習	デモンストレーション・実践

6	AJESTHE上級 エステティシャン 試験対策	【試験練習】・試験の流れの説明 ・実技試験の流れで練習
7		
8		
9	模擬試験	成績評価③
10	フェイシャルテクニック総合 クライアント実習	クレンジング・カウンセリング（肌分析）
11		ディープクレンジング・電気トリートメント
12		マッサージ・マスク・仕上げ・メイク・ネイル
13		アフターカウンセリング
14	フェイシャルテクニック総合	フェイシャルエステティック総合復習 成績評価④
15	総合授業	総まとめ授業を行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	エステティック総論（上級）		
必修選択	選択	（学則表記）	エステティック総論（上級）		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	新エステティック学理論編Ⅰ～Ⅲ/AEAテキスト（各項目）		出版社	日本エステティック協会 日本エステティック業協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	エステティック知識総合（資格試験対応） ・皮膚学・生理解剖学・栄養学				
到達目標	AEA上級認定エステティシャン筆記試験合格基準(前期) AJESTHE認定上級エステティシャン合格基準(後期)				
評価基準	筆記試験60%/小テスト・ケースワーク20%/授業態度、提出物など20%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	AEA上級認定エステティシャン AJESTHE認定上級エステティシャン				
関連科目	プロフェイシャルⅡ・プロフェイシャルⅡ・トリートメント・サロンワーク・エステティックカウンセリングⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	上地葉子	実務経験		○	
実務内容	サロン経営・実務経験30年				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	救急法	・救急法の基礎知識・一次救命処置・主な症状の救急手当・主な事故の手当て
2	電気理論	・電気が生じるしくみ ・化学結合の種類 ・電気の基礎知識
3	人体と電気 エステティック機器の種類と原理	・体の中の電気のしくみ ・エステティックにおける生体電気の利用
4	皮膚の構造・生理機能	皮膚の構造と生理機能
5	トラブル肌と皮膚疾患	・接触性皮膚炎・アレルギー性疾患
6	トラブル肌と皮膚疾患 筆記試験	・アトピー性皮膚炎 ・その他の主な皮膚疾患 成績評価①

7	人体のあらまし細胞・組織・器官	・人体のあらまし ・人体の成り立ち
8		
9	人体の器官系感覚器系・消化器系	感覚器（感覚器のあらまし・各感覚器の構造と働き） 消化器系（消化器系のあらまし・各消化器の構造と働き）
10		
11	化粧品と薬機法 化粧品の品質と品質特性	・化粧品と医薬品医療機器等法 ・化粧品の品質と品質特性 ・化粧品の分類と特徴
12	AEA上級認定E 演習問題	AEA問題集の解説を行いながら検定対策をする
13		
14		
15	筆記試験	模擬試験 成績評価②
16	前期の振り返り	総まとめ・前期の振り返り
17	脱毛学	・毛髪学概論・毛と毛包の構造
18	※プロボディⅡにて実技導入	・発毛のしくみと毛周期 ・美容脱毛技術者として知っておきたい病気
19	認定上級E筆記対策 (内ホメオスタシス6時間) 1年・2年次の不足の補填	検定対策テキストの内容を実施・小テスト
20		
21		
22		
23		
24	筆記試験	成績評価③ AJESTHE上級 模試
25	認定上級E 実技対策	AJESTHE上級試験範囲 コンサルテーション 口頭試問 実技試験対策 成績評価④ ケースワーク
26		
27		
28		
29		
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	実技	科目名	サロンワーク(ネイル)Ⅱ		
必修選択	選択必修	(学則表記)	サロンワーク(ネイル)Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	①実際のサロンでのお客様対応や施術を学び、トラブルの回避を自身で考え対応でき、実践を通して技術を習得する ②「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける。				
到達目標	①お客様に施術などの説明ができ、満足の頂ける技術及び接客が出来る ②日ごろの授業のアウトプットとして、人を魅了することができる企画・立案ができ、実践することができる				
評価基準	①授業態度他20%・接客態度他40%・技術レベル30% ②レポート10%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	押野見久恵	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	<p>様々なシュチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・イレギュラーな対応方法など 様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とするが 授業空きの教員などにも お客様としてモデルをしていただく、 相モデルなど工夫して授業を進める</p>
2	サロンワーク技術	
3	サロンワーク技術	
4	サロンワーク技術	
5	サロンワーク技術	
6	サロンワーク技術	
7	サロンワーク技術	
8	サロンワーク技術	
9	サロンワーク技術	
10	サロンワーク技術	

11	サロンワーク技術	<p>サロンメニューやアートデザインだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちに考えていく</p> <p>Bショーの内容を授業で行い「美」を通す人を魅了することへの表現力を身につける</p>
12	サロンワーク技術	
13	サロンワーク技術	
14	サロンワーク技術	
15	総合授業	総まとめを行う
16	前期振り返り	<p>様々なシチュエーションや 施術内容を設定し、サロンワーク としての技術・接客を シュミレーションとして行う</p> <p>施術時間・用具の管理・接客対応 ・言葉遣い・クレーム処理方法など 様々な視点からチェックしていく</p> <p>基本的には外部の方をお客様として招き サロンを運営することを目的とするが 授業空きの教員などにも お客様としてモデルをしていただく、 相モデルなど工夫して授業を進める</p> <p>サロンメニューやアートデザインだけではなく、 集客方法やフライヤー作成など すべての運営を生徒たちが考えていく</p>
17	サロンワーク技術	
18	サロンワーク技術	
19	サロンワーク技術	
20	サロンワーク技術	
21	サロンワーク技術	
22	サロンワーク技術	
23	サロンワーク技術	
24	サロンワーク技術	
25	サロンワーク技術	
26	サロンワーク技術	
27	サロンワーク技術	
28	サロンワーク技術	
29	サロンワーク技術	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅱ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅱ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加藤睦子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習	1年間の授業の流れ
2	JNA 2級検定の振り返り ジェル中級について	1年次及びJNA 2級の振り返りをし ジェル中級に向けて

3	ジェル中級対策	ジェル中級検定に向けての 実技練習 ※ 各校の検定実施日に併せて日程調整 1級検定のセッティング及び流れを覚える 2級受験者も後日の受験に備え 1級検定について学ぶ	
4	ジェル中級対策		
5	ジェル中級対策		
6	ジェル中級対策		
7	1級実技対策 または ジェル中級対策		
8	1級実技対策イクステンション		
9	1級検定筆記模擬試験・対策		
10	1級実技対策イクステンション 2級実技ケア(ラウンドニッパー強化)		教員だけで実技チェックするのでは なく、チェックシート等を用いて 生徒同士でチェックし自身の弱点を 克服していく
11	1級実技対策イクステンション 2級実技対策ケア		
12	1級実技対策アート 2級実技対策後半実技		
13	実技テスト		
14	筆記テスト実技対策		
15	総合授業	総まとめを行う	

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策Ⅲ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策Ⅲ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格に繋がる知識・技術をマスターし、実践できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30％・授業態度他10％・筆記テスト30％・実技テスト30％				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級／JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ ・検定対策Ⅱ／Ⅲ・検定対策&スカルプチュアⅠ／Ⅱ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加藤睦子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて (筆記・実技)	検定へ向けて総仕上げ
2	検定にむけて (実技)	
3	ジェル上級検定実技	ジェル上級検定について 説明と実技練習
4	ジェル上級検定実技	

5	ジュエル検定実技 (中級または上級)	実技練習 ※ 各校の検定実施日に併せて 日程調整をする
6	ジュエル検定実技 (中級または上級)	
7	ジュエル検定実技 (中級または上級)	
8	ジュエル検定実技 (中級または上級)	
9	ジュエル検定実技 (中級または上級)	
10	ジュエル検定実技 (中級または上級)	
11	1・2級ジュエル検定振り返り 再検定に向けて (不合格者) 1・2級ジュエル検定実技	1・2級再受験者・ジュエル検定受験者 それぞれの受験検定の実技を練習
12	1・2級検定・ジュエル検定実技	
13	実技テスト	
14	筆記テスト 実技練習	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅠ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅠ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里美紀	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 1年次の復習 1級実技説明・DVD・デモ	1年間の授業の流れ 1年次及びJNEC2級の復習をしJNEC1級に向けて
2	1級実技対策イクステンション	1級検定のセッティング及び流れを完全にマスターする 2級受験者も後日の受験に備え 1級検定について学ぶ
3	JNEC1級対策	
4	JNEC1級対策	
5	JNEC1級対策	

6	1級実技対策イクステンション 2級実技対策	J NEC 1級検定に向けての実技練習
7	1級実技対策イクステンション 2級実技対策	リベンジ者は2級練習
8	1級2級実技対策 筆記テスト	必要に応じて、ジェル中級対策
9	1級実技対策イクステンション 2級実技対策ケア (ラウンド・ブッシャー・ニッ パー強化)	受験級を中心に強化練習
10	1級実技対策委クステンション 2級実技対策 ケア	教員だけで実技チェックするのでは なく、チェックシート等を用いて
11	1級実技対策委クステンション 2級実技対策 後半実技	生徒同士でチェックし自身の弱点を克服
12	1級実技対策 アート 2級実技対策 後半実技	
13	実技テスト	
14	実技テスト	
15	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	講義	科目名	検定対策&スカルプチュアⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	検定対策&スカルプチュアⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	1年次に学んだネイル技術に加え、検定合格レベルの知識技術をマスターし、サロンで通用するスカルプチュア技術の習得する				
到達目標	付け爪技術のスカルプチュアやジェルネイルの知識・技術をマスターし、ネイル検定1級・ジェル検定上級まで取得と共にネイリストとしてサロンで通用する技術レベルへの習得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里美紀	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	検定にむけて(筆記・実技)	1級検定について注意事項説明・筆記対策と実技練習
2	〃(実技)	
3	1級検定実技	

4	スカルプ・クリア10本	<p>サロンワーク対応の技術を練習する</p> <p>マシンを使用する際のオフ・お直しも併せて学ぶ</p> <p>フレンチやフィルイン・フィルアウトなどの説明とデモも加える</p> <p>生徒の理解度や技術レベルにより適宜内容前後や変更を行う</p>	
5	スカルプチュア10本 (グラデーション)		
6	//		
7	スカルプ フレンチデモ・実技		
8	スカルプ フレンチ 実技		
9	スカルプフレンチ 実技 バーチャルフレンチ デモ		
10	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)		
11	スピードスカルプチュア ナチュラル (相モデル)		
12	サロンでの長さだし		
13	筆記試験 実技試験		2年間で学んだ実技をチェック
14	実技試験		
15	総合授業		総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ジェルネイルⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ジェルネイルⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	4	120
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ジェルの特性を理解し、知識と技術の両面ともマスターし、お客様にご説明して施術できる				
到達目標	ネイルの基礎的な技術に加え、ジェルネイルの知識・技術をマスターし、 ジェル検定上級まで取得				
評価基準	検定結果30%・授業態度他10%・筆記テスト30%・実技テスト30%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・検定対策Ⅱ/Ⅲ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	渡口真由美	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入・教材確認 グラデーション・フレンチそ	グラデーション・フレンチ・シールを埋めるやり方・ラインテープの貼り方・タテグラデ・逆フレンチなど様々なデザインを学ぶ
2	グラデーション・フレンチその他デザイン実技	
3	ジェルスカ(クリア)デモ・実技	ジェルスカ(クリア)デモ・実技
4	マシーンオフ・プレパ	マシーンオフとプレパレーション実技
5	マシーンオフ+フィルイン+フィルインベースのせ	

6	中級検定実技	中級検定内容を学び技術をマスターする
7	中級検定実技	※ 各校の検定実施日に併せて 日程調整をする
8	中級検定実技	
9	ジェル上級説明、ジェルチップオーバーレイデモ実技(ナ)	上級検定へ向けて
10	ジェルチップオーバーレイ・実技(ナチュラル・フレンチ)	ジェルチップオーバーレイを学ぶ
11	ジェルアート(フラワー他)・実技	アート(フラワー)の技術をマスターする
12	ジェルアート(フラワー他)・実技	
13	実技テスト	
14	筆記テスト 実技練習	
15	総合授業	総まとめを行う
16	ジェルスカルプ (クリア・フレンチ)実技	上級受験者のみではなく 全員が上級検定の実技をマスターしていく
17	ジェルスカルプ・チップオーバーレイ	
18	ジェルスカルプ 実技(相モデル)	
19	上級検定実技	上級受験者のみではなく 全員が上級検定の実技をマスターしていく
20	上級検定実技	
21	上級検定実技	
22	上級検定実技	
23	デザインジェル・実技	前期にて行ったデザインにプラスして 流行のデザインなどの研究も含めて 様々なデザインを行う
24	デザインジェル・実技	
25	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン	
26	デザインジェル・実技 ジェルフィルイン	
27	ジェル実技(10本)相モデル	サロンワークを意識して長さ出しやデザインなどの
28	ジェル実技(10本)相モデル・ 筆記テスト	テーマを決めて施術を行う
29	後期実技試験 (上級検定内容)	総復習として実技試験を行なう
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	コンテストⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	コンテストⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	2	60
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	授業内で技術を磨き競わせ、自身で諦めない気持ちやモチベーションを向上させ維持することを実践できる				
到達目標	コンテスト入賞				
評価基準	授業態度20%・実技テスト80%				
認定条件	・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイルケア・ネイルアートⅡ・ジェルネイルⅡ				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	加藤睦子	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	コンテスト予定確認 モデル選びについて	今後のコンテスト予定を確認し目標を立てさせ技術向上を意識付けする モデル選びの重要性、サロンワークや検定とのコンテストの違いを理解する
2	ケア・カラー	スチューデントケアの練習 (ジュニアケア含む) コンテスト用、検定モデル用リベアのやり方を学ぶ
3	ケア・カラー	
4	ケア・カラー	
5	ケア・カラー実技テスト	

6	アート	チップ作成によるアート
7	アート	(背景の描き方・ロングチップの扱い方 人物や陰影のつけ方など)
8	アート	ペイント・3D・エンボス・エア・ジェルアート
9	アート 作品提出	タイムトライアルでのアート作成など
10	スカルプチュア	
11	スカルプチュア	
12	スカルプチュア	ジュニア部門のスカルプとして ナチュラルスカルプ練習
13	スカルプチュア	
14	スカルプチュア実技テスト	
15	総合授業	総まとめを行う
16	ケア・カラー	スチューデントケアの練習と共に プロケアとしてフレンチカラー
17	ケア・カラー	
18	ケア・カラー実技テスト	メンズネイルケアの知識を学び練習も行う
19	ジェル	
20	ジェル	ジェル部門(フリーデザインやアート等)の 練習として様々なデザインを作成
21	ジェル	
22	ジェル実技テスト	
23	アート	チップ作成によるアート(ペイント・3D・エンボス・エア)や デザインイクステンションなどコンテスト内容に順じた アートデザインのコンテスト練習
24	アート	
25	アート 作品提出	モデルまたはハンドやチップを使用してのアート
26	スカルプチュア	
27	スカルプチュア	プロ部門としての練習
28	スカルプチュア	フレンチスカルプチュア
29	スカルプチュア実技テスト	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルケア		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルケア		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック／アドバンス／ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	トリートメント・フットやマシン技術も含め、全てのネイル技術の基本であるケアをマスターして、更なる技術向上を目指し実践する				
到達目標	短い施術時間内で無駄の無い正確な技術を行うことが出来る				
評価基準	授業態度他20%・筆記テスト40%・実技テスト40%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> 出席が総時間数の3分の2以上ある者 成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里美紀	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	1年次復習	これまでの振返りと2級検定振返り
2	ハンドケア(マシン) トリートメント理論	マシンを使用するのケア方法と トリートメントについてを学ぶ
3	フットケア(メタルプッシャー)、トリートメント、カラー	フットケアを学ぶ キューティクルケアにおいてマシン及びメタルプッシャーそれぞれの使用方法をマスターし、違いを理解する
4	フットケア(メタルプッシャー)、トリートメント、カラー	
5	フットケア(マシン) ・トリートメント・カラー	
6	フットケア(マシン) ・トリートメント・カラー	

7	ハンドケア（マシン）・ カラー	2級受験者がいる場合
8	ハンドケア（マシン）・ カラー	検定を意識したケア・カラーを行う
9	ケア、カラー	ラウンドの練習 2級受験者は検定練習 1級受験者は色々なカラーを使用
10	ハンドケア（マシン） カラー	様々なポリッシュを使用してどんな色でも綺麗にカラーリングが出来る様にする（マットホワイト・パールホワイト・パール系・マットなパステル系等）テーマを決めてアートも取り入れる
11	ハンドケア（マシン） カラー	
12	実技テスト （ハンドケア・マシン）	
13	実技テスト （ハンドケア・マシン）	
14	筆記テスト ケア・カラー	
15	総合授業	総まとめを行う
16	ケア、カラー	2級受験者は検定練習 ラウンドの強化(タイムトライアル)
17	ケア、カラー	1級受験者はマシンでのケアと色々なカラーを使用 どの様なカットスタイルにも対応できるようにする ※コンテスト対策としてのケアカラー練習としても可
18	ケア、カラー	
19	フットケア（メタル） トリートメント・ジェル	ジェルを取り入れたフットケアを学ぶ
20	フットケア（メタル） トリートメント・ジェル	
21	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル	フットでは、マシンによる角質除去を行う
22	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル	
23	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル	
24	フットケア（マシン） トリートメント・ジェル	
25	フットケア（マシン） マシンオフ	毎回カラーは色を決めて赤以外の 乳白色・パール・フレンチ等を使用し タイムを決めて、サロンワークを意識する (グラデーション等のカラーリングも含む) テーマを決めてアートも取り入れる
26	フットケア（マシン） マシンオフ	
27	実技試験 フットケア トリートメント・ジェル	
28	実技試験 フットケア トリートメント・ジェル	
29	筆記テスト ハンドケア(マシン)	
30	総合授業	総まとめを行う

シラバス

科目の基礎情報①

授業形態	演習	科目名	ネイルアートⅡ		
必修選択	選択	(学則表記)	ネイルアートⅡ		
開講				単位数	時間数
年次	2年	学科	トータルビューティー科	3	90
使用教材	JNAテクニカルシステム ベーシック/アドバンス/ジェルネイル ネイル用具一式		出版社	NPO法人日本ネイリスト協会	

科目の基礎情報②

授業のねらい	ポリッシュアートなどのフラットアートから3Dアートに至るまでのネイルアート全てを学び習得する				
到達目標	様々なデザインを考案し、お客様のどのような要望にもお答え出来、提供できる				
評価基準	作品提出90%・授業態度他10%				
認定条件	<ul style="list-style-type: none"> ・出席が総時間数の3分の2以上ある者 ・成績評価が2以上の者 				
関連資格	JNECネイリスト検定3級・2級・1級/JNAジェルネイル検定初級・中級・上級				
関連科目	ネイル教科全般				
備考	原則、この科目は対面授業形式にて実施する。				
担当教員	仲里美紀	実務経験	○		
実務内容	ネイルサロン勤務。ジェル技能検定・日本ネイリスト協会認定講師・JNA衛生管理指導員その他資格取得				

習熟状況等により授業の展開が変わることがあります

各回の展開

回数	単元	内容
1	導入 作品紹介 検定用ペイントアート 2級検定実技	1年間の授業の流れ作品紹介 コンテスト作品を仕上げるコツ等を学ぶ 2級アート実技練習
2	エンボスアート基礎	エンボス及び3Dの基本的な花やモチーフの作品や立体の作り方・仕上げ方を学ぶ
3	エンボスアート	
4	エンボスアート	
5	3Dアート基礎	
6	3Dアート応用	
7	3Dアート(検定用)	

8	エアブラシ基礎 ライン・ドット等シート練習 (組立・掃除等のメンテナンス)	エアブラシの基礎から応用まで (色々な吹き方及びメンテナンス方法)
9	エアブラシ応用	コンテスト作品を仕上げるコツ等を指導
10	エアブラシ応用	作品提出
11	ミックスメディアアート	フラット・エンボス・3Dの技法を 取り入れたアート作品を作る
12	ミックスメディアアート	作品提出
13	検定用アート	検定用アートのデザインを決めタイムを計って 作品のクオリティーを上げていく
14	検定用アート	作品提出
15	総合授業	総まとめを行う
16	検定用アート	検定に向けての作品作り
17	検定用アート タイムトライアル	タイムを計って作品のクオリティーを上げていく
18	検定用アート タイムトライアル	作品提出
19	デザインスカルプチュア (ラメグラ等含む) デモ・実技	
20	デザインスカルプチュア	デザインスカルプチュアを学び習得する
21	デザインスカルプチュア	
22	作品制作	テーマや技法(エアー・フラットなど)を 決めて作品を制作する
23	作品制作	オーダーチップのサイズ合わせ
24	作品制作	作品提出
25	タイムトライアル	時間内での作品作り (サロンワークに対応するアート)
26	卒業制作	作品作り総まとめ
27	卒業制作	全ての技術を用いて作品を仕上げる 想像力を高めオリジナル性を出す
28	卒業制作	2年間の総復習
29	卒業制作	作品提出
30	総合授業	総まとめを行う